

紙製吸音シリンダーの採用について

王子ホールディングス株式会社(社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)は、清水建設株式会社(社長:井上和幸、本社:東京都中央区)と共同開発した紙製吸音シリンダーが、清水建設・東亜建設工業特定建設工事共同企業体が施行する、中央自動車道 新小仏トンネル工事(発注者:中日本高速道路株式会社)に採用されたことをお知らせいたします。

■清水建設株式会社との取り組みについて

当社は、清水建設と共同で、土木現場の仮設資材に紙素材を活用したソリューション『KAMIWAZA』の開発を進めています。従来の鋼材や木材に比べ軽量で取り扱いが容易なため、作業負担が軽減し、仮設工事の生産性が向上します。これまでに、トンネル工事現場で使用する「トンネル風門」や「骨材貯蔵施設の断熱カバー」として『KAMIWAZA』が活用されています。

《関連リリース》

[人と環境に優しい仮設資材を土木現場に適用～紙素材を活用した仮設施工の生産性向上技術「KAMIWAZA」～](#)

■紙製吸音シリンダーの開発について

トンネル工事における発破掘削は100dbを超える非常に大きな騒音が発生するため、従来工法では、木材製吸音装置(1本あたりの重量約60kg)を数百台規模でトンネル内に設置し、発破音を低減する対策が取られてきました。一方、今回開発した紙製吸音シリンダーを用いると、シリンダー1本あたりの重量が約17kgと、従来の木材製吸音装置から大幅に軽量化され、設置時や撤去時の作業負担低減に貢献できます。また、紙製吸音シリンダーは、工事完了後には古紙としてリサイクルすることが可能で、段ボールなどに生まれ変わります。

王子グループは、今後も環境配慮型素材や製品の開発(グリーンイノベーション)を推進し、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。



トンネル工事現場に設置する様子

本件に関する問い合わせ先

王子マネジメントオフィス株式会社
グループ事業開発本部 新事業開発チーム
TEL:03-3563-4430 E-mail:oji-kamiwaza@oji-gr.com
王子ホールディングス株式会社
コーポレートガバナンス本部 広報IR部
TEL:03-3563-4523 E-mail:oji-holdings@oji-gr.com